

『甲斐みのりの旅のしおり 奈良』(291. 6)
甲斐みのり／著 小学館

奈良がもつ、ゆったりとした時間の流れ。それを切りとったような写真が掲載されたガイドブックです。かばんに入れてあなたの知らない奈良を発見しよう！
大和郡山も載っています♪

利用案内

- ◆大和郡山市に在住・在学・在勤の方は、利用者カードを作ることができます。
- ◆5冊まで、2週間借りられます。
- ◆貸出中の本の予約、所蔵していない本のリクエストができます。
- ◆司書が調べ物のアシストをします。探している本が見つからないときは、お気軽にお尋ねください。
- ◆図書館が閉まっているときは、東・西エントランス横のブックポストに返却できます。
また、城下町プラザ・各支所でも返却できます。
(返却利用日時は各施設、または図書館にお尋ねください)

☆インターネット、OPAC(館内のタッチパネル検索機)を使って☆
◎貸出中の本の予約 ◎貸出延長 ◎貸出状況の確認
◎予約状況の確認 ◎予約の取り消し ◎所蔵資料の検索

【PC】 <http://www.yamatokoriyama-library.jp/>
【携帯】 <http://www.yamatokoriyama-library.jp/toshoi/>



【開館時間】
土曜日 9:30～21:00 土曜日以外 9:30～19:00

【休館日】
毎週火曜日、第1・第3水曜日(祝日にあたる場合は翌日休館)
年末年始 特別整理期間

【大和郡山市立図書館】
大和郡山市北郡山町211-3 やまと郡山城ホール内
Tel: 0743-55-6600

やってみよう!作ってみよう!



くだものや野菜、トイレトペーパー……。イメージをふくらませたら、こんな楽しい「カタチ」、できました!



『あたらしいみかんのむきかた』(798)
岡田好弘／作
神谷圭介／絵・文
小学館



『トイレトペーパーおりがみ』(754)
東大折紙サークル「Orist」／著 講談社

『やさいであそぼ』(719)
ユースト・エルファーズ
& サクストン・フライマン／作
はな／訳 早川書房

YONDOCO

中学生・高校生版 第10号 2012.01発行

図書館おすすめの本

()内は、分類です。

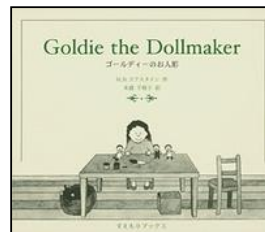


『昆虫部』(スギ)
梶本孝思／著 幻冬舎

俺は天才じゃない。でも、恐ろしく人より優れた洞察力と先見性を持っている。そして身の丈に合わないその能力が俺自身を不幸にしていた。中庭で弁当箱のフタを閉じた俺に、ひとりの女子が声をかけてきた。そこそこかわいい。なに??? コンチュウブ!?

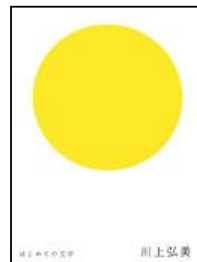
奈良県生まれのホラーミステリーの著者がえがく初の青春小説。

『ゴールドイーのお人形』(Nゴフ)
M. B. ゴフスタイン／著 末盛千枝子／訳
すえもりブックス



ゴールドイーはドールメーカー。ていねいにまごころをこめて人形作りをする毎日。ある日、とても気に入った高価なランプに出会い、手に入れるのですが…。働くことの幸せをゴールドイーは知ってゆきます。

『はじめての文学 川上弘美』(カワ)
川上弘美／著 文藝春秋



「小説は自由です。書き方も、そして、読み方も。それが、なにしろ嬉しいことなのだと思います。」と語る川上弘美…。ベストセラーになった『センセイの鞆』の番外編ともいべき『パレード』をはじめ、短篇13作品をおさめます。

『カピバラ大好き』(489)
渡辺克仁／著 ゴマブックス



見ていると思わず抱きしめたくなるカピバラ。ずんぐりむっくり、のほほん、まったり。長く見てもまったく飽きない、不思議な存在。この写真集を開いて、心を和ませ、一度カピバラに会いに行ってはいかがでしょうか?



『フュージョン』（ハマ）
濱野京子／著 講談社

何なの、これ？ 何やってんだよ、あいつら。
それが、あたしとヤツらの、そして、あたしとダブル
ダッチとの出会いだった。
たかが縄跳び、でもそれはただの縄跳びじゃなかつた。
この出会いが、あたしを変えた。



『世界はいっしょにまわってる
ヨコ軸でつなぐ日本史と世界史』（210.1）
池上彰・稲田雅子・サカガミミコ／著 小学館

学校の授業では別々に習う世界史と日本史。ここでは左ページに日本、右ページに世界で起きた同時代の出来事が載っています。
世界的な大事件が起きていた時、日本はこんな時代だったという様に、歴史はバラバラではなく一緒に動いていると感じる本。



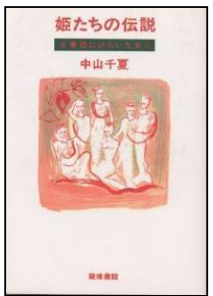
『『怖い』が、好き！』（14）
加門七海／著 理論社

「怖い」って、怖いけど気になる。見たくなる。
それは、人生にはオバケが必要だからかもしれない。
なぜ、オバケを見る人がいるのか。
どうして、オバケは怖いのか。
そして、なぜ、人にはオバケが必要なのか。
一緒にゆっくり考えてみませんか。

『リスとお月さま』（E1）
ゼバスティアン・メッセンモーター／作 松永美穂／訳



あるあさ、リスのいえにお月さまがおっこちてきたので、リスはびっくり！
月泥棒だと思われて牢屋に入れられることを心配したリスは、お月さまをどこかへやろうとします。
動物たちの奮闘ぶりがたまらなくかわいい、シュールな絵本。



『姫たちの伝説』（913. 2）
中山千夏／著 築地書館

『古事記』。名前は知っているけれど、読むのは難しそう……そんなふうに思っている人におすすめの本。
たとえば“イザナギ”と“イザナミ”、作者が現代風に呼ぶなら“誘い彦”と“誘い姫”。
なぜそうなるか等、登場する姫たちの物語を個性豊かに、ユーモラスに描いています。
こんな風に読むと、意外に楽しく読めるかも。



『MOE絵本教室』（726）
MOE編集部／編 白泉社

絵本作家になりたい人必見！
アトリエでの制作過程、様々な画材、そして絵本作家へのインタビューも収められた絵本作りのための本。
巻末には、絵本作りの基礎知識も載っています。



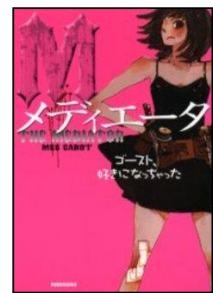
『ブタとおっちゃん』（748）
山地としてる／著 FOIL

養豚農家のおっちゃんは、自分の手で餌をやり、糞の処理をし、1頭ずつに愛情を注いでブタを育てています。
小さな町で養豚場を営むおっちゃんと、1200頭のブタの日々の記録。



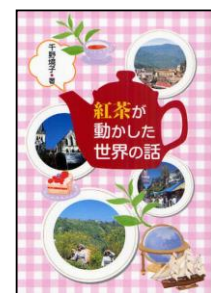
『ゲーム屋のお仕事』（589）
島国大和／著 毎日コミュニケーションズ

ゲームを作るのって楽しそう。
憧れのゲーム業界。
でも、そこにあるのは過酷な現実だった。
笑いあり、涙あり、涙あり、涙あり…
これを読んでもゲーム屋を目指そうと思える人が、明日のゲーム業界を支えていくのかもしれない。



『メディエータ ゴースト、好きになっちゃった』（Nキヤ）
メグ・キャボット／著 代田亜香子／訳 理論社

女子高生霊能者スザンナのホラー＆ラブストーリー。
メディエータとして霊の願いをかなえてあげるのが影の仕事。
そんな彼女が好きになったのは、超ハンサムなジェシー。でも彼は150年前に死んだゴーストで…。



『紅茶が動かした世界の話』（619）
千野境子／著 国土社

普段なにげなく飲んでいる紅茶。
その紅茶をめぐって、アメリカ、イギリス、オランダ、インド、中国、そして日本で何が起きたのか。その出来事が世界の歴史に与えた影響、それぞれの国にとっての意味とは…。紅茶から世界の動きを見いきます。



『医学のたまご』（カイ）
海堂尊／著 理論社

僕はふつうの中学生だけど、ひよんな事から「日本一の天才少年」になってしまった。そのうえ、大学で医学の研究をする事に。
しかもそこで、教授も驚く世紀の大発見をしてしまったのだ…！



『エイモスさんがかぜをひくと』（Eエ）
フィリップ・C. ステッド／文 エリン・E. ステッド／絵
青山南／訳 光村教育図書

動物園で働くエイモスさんには、おともだちがいました。ゾウとはチェスをしたり、ミミズクに本を読んであげたり…。
ある日、エイモスさんは風邪をひいてしまい、動物園をお休みしました。まちぼうけをしていた動物たちのとった行動とは！？